

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2009 年 2 月 12 日 (12.02.2009)

PCT

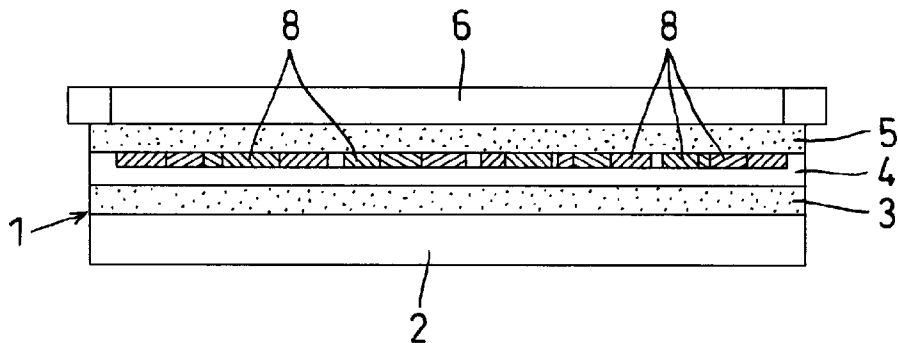
(10) 国際公開番号
WO 2009/019802 A1

- (51) 国際特許分類:
B44D 3/18 (2006.01) *B44D 2/00* (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2007/073334
- (22) 国際出願日: 2007 年 12 月 3 日 (03.12.2007)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2007-207130 2007 年 8 月 8 日 (08.08.2007) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社フジックス (FUJIX LTD.) [JP/JP]; 〒6038322 京都府京都市北区平野宮本町 5 番地 Kyoto (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 吉田 則幸 (YOSHIDA, Noriyuki) [JP/JP]; 〒6038322 京都府京都市北区平野宮本町 5 番地 株式会社フジックス内 Kyoto (JP).
- (74) 代理人: 玉利 富二郎, 外 (TAMARI, Fujiro et al.); 〒5410048 大阪府大阪市中央区瓦町 3 丁目 1 番 4 号 トーア紡ビル 6 階 Osaka (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
- 添付公開書類:
— 国際調査報告書

(54) Title: YARN-UTILIZING PICTURE CANVAS

(54) 発明の名称: 糸を用いた絵画用カンバス

[[図1]]



(57) Abstract: A yarn-utilizing picture canvas that without the need to use an embroidery needle and without bonding by touch of hand, etc. on an adhesive surface, allows anyone to easily draw a picture only by pasting a yarn to the canvas. The yarn-utilizing picture canvas is yarn-utilizing picture canvas (1) comprising sheetlike base member (2) having its one major surface formed into a plane provided with picture by pasting of underglaze paper (4) and, sequentially superimposed on the picture provided plane, adhesive layer (5) capable of sight through and cover sheet (6) detachable from the adhesive layer (5) capable of sight through.

(57) 要約: 糸を用いた絵画用カンバスにおいて、刺繍の際の針を用いずに、また、粘着面に手などが触れて接着することなく糸をカンバスに貼り付けていくだけで誰でも簡単に絵画が描けるようにする。板状のベース材 2 の一方面に下絵紙 4 を貼り付けて絵柄が描かれた絵柄形成面とし、この絵柄形成面上に、透視可能な接着層 5、この透視可能な接着層に対して着脱自在となるカバーシート 6 の順に積層して形成された構成を採用した糸を用いた絵画用カンバス 1。



WO 2009/019802 A1

明 細 書

糸を用いた絵画用カンバス

技術分野

[0001] この発明は、糸を用いた絵画を誰でも簡単に仕上げることができる絵画用カンバスを提供するものである。

背景技術

[0002] 従来、種々ある絵画の制作方法の1つとして糸を使用したものがあり、糸を使用した技法としては、刺繍糸を用いて布に縫い込むいわゆる刺繍というのが一般的に行われているものである。

[0003] 最近では、カンバスに着色された糸を接着して固定することで所定の図柄を表現していく手法が知られており、貼り付ける糸を複数色用意し、適宜選択してカンバスに貼り付けることで、カンバス上に絵画を表現することができる。

[0004] これら糸をカンバスに貼り付けるものとして、例えば、絹糸を両面接着テープを用いてカンバスに貼り付けてゆく方法がある(例えば、特許文献1参照)。

[0005] また、ベース材の表面に粘着材層を介して剥離紙が貼設され、剥離紙と粘着材層に切り込みが入れられており、剥離紙を切り込みに沿って切り離し、切り込まれた図柄に沿って糸を周囲から順に内側に巻くように接着して所定の図柄を表現することで、誰でも簡単に装飾体を仕上げられるようにしたものが知られている(例えば、特許文献2参照)。

[0006] また、写真等を倣って糸による絵画を得るために、特許文献1のようなカンバスの粘着層の上面に例えば写真を原図として貼り付け、原図に現れた同一色の集合した部分のみカッターで切り取り、そこに現れた接着面に原図の色と類似する糸を貼っていくことで、写真などの原図に忠実に絵画を仕上げる手法もある。

特許文献1:特開平8-183300号公報(請求項1、図1)

特許文献2:特許第2760390号公報(段落0018、図1)

発明の開示

発明が解決しようとする課題

- [0007] ところで、従来の布地に刺繍を行う手法の場合は、針を用いるために糸通しの不便さや作業時の安全性に難点があった。
- [0008] 一方、刺繍を用いずにカンバスに糸を貼り付ける特許文献1の手法の場合、絹糸の貼り付け作業中に、まだ糸を貼り付けていない粘着面に対して、作業者の手や衣服、又は未だ貼り付ける予定のない糸が触れて接着してしまったりするので、粘着面に注意して作業しなければならないという煩わしさがあった。
- [0009] また、特許文献2の手法の場合、糸を貼る作業は所定の切り込みに沿って剥がした部分について順次行えばよいので、手が作業部分以外に触れても接着してしまうことは少ないが、各切り込み部分が単一色の糸で埋められてイラスト風の絵画となってしまうなど、切り込みによる細やかな部分の表現に限界があった。
- [0010] また、粘着層の上面に写真を貼り付け、写真に現れた同一色の集合した部分のみカッターで切り取り、現れた接着面に写真の色と類似する糸を貼っていく手法は、特許文献2のような既製の切り込みが入れられたものよりも原図の選択肢も多く、写真に合わせて細かな部分毎に糸の貼り付け作業が可能であり、多彩な表現が可能となる等利点があるが、切り込みのための作業に大きな手間がかかることも不便であり、また、カッター刃を使うために危険であった。
- [0011] 更に、剥がした接着面に写真の色彩が残っていないので、剥がした原図を一々確認して糸の色を選択しなければならないといった手間があった。
- [0012] そこでこの発明の課題は、糸を用いた絵画用カンバスにおいて、刺繍の際の針を用いずに、また、粘着面に手などが触れて接着することなく糸をカンバスに貼り付けていくだけで誰でも簡単に絵画が描けるようにした絵画用カンバスを提供することを課題とする。

課題を解決するための手段

- [0013] 上記のような課題を解決するため、請求項1の発明は、板状のベース材の一方面を絵柄が描かれた絵柄形成面とし、この絵柄形成面上に、透視可能な接着層、この透視可能な接着層に対して着脱自在となるカバーシートの順に積層して形成された構成を採用した糸を使った絵画用カンバスである。
- [0014] ここで、絵柄形成面としては、ベース材の一方面に絵柄が描かれた下絵紙を粘着

層を介して貼り付けるか、又は、ベース材の一方面に絵柄を印刷、現像等の手法で描くことなどで形成される。

[0015] 透視可能な接着層としては、透明又は半透明の接着剤を塗布したり、シート状の透明又は半透明な両面接着シートを用いて形成される。

[0016] カバーシートとしては、透視可能な接着層に対して接着、離脱自在で再接着も可能な合成樹脂シートか、又は紙や布の表面に合成樹脂膜を形成したものが挙げられ、合成樹脂シート、紙、布などのシート材の表面に離型処理を施したものでよい。

[0017] また、カバーシートにこのカバーシートを小分けするような各区間の周囲に切断が容易な切断補助線を入れておけば、糸貼り作業を行う区画のみカバーシートを順次取り去って作業を行うことで、糸貼り作業済区画にはカバーシートが存在せず、未作業区画の接着層上にはカバーシートが残るようになる。即ち、作業を再開する際に作業区画のみカバーシートを取り去れば良く、カバーシート全体を大きく捲る必要がなくなる。

[0018] 請求項2の発明は、板状のベース材の一方面に、接着層、剥離紙の順に積層して形成したベース部と、カバーシートの一方面に、このカバーシートが着脱自在となる透視可能な接着層、剥離紙を積層して形成したカバー部と、必要に応じて用意された、表面に絵柄が描かれた下絵紙とからなる構成を採用した糸を使った絵画用カンバスである。

[0019] ここで、ベース部の剥離紙とカバー部の剥離紙を剥がして現れた両接着層間に、下絵紙を絵柄が描かれた面をカバー部側にして挟むことで絵画用カンバスが形成されるが、下絵紙としては、写真やイラストが描かれた印刷物、写真が現像された印画紙、手書き絵画、コピー済用紙等、適宜なものを選択して用いることができる。

発明の効果

[0020] 請求項1の発明の糸を用いた絵画用カンバスによれば、糸を貼り付ける作業に当たり、刺繍のような刺繍針を用いず、原画に倣った切り込みを行うためのカッター刃を用いることもなく、安全に糸貼りに専念しての作業が可能である。

[0021] また、下絵を目視して色を確認しながら下絵に倣って糸の貼り付けを行うことができるので、写真を剥がしていく技法のように剥がした原図の色を一々確認する必要がな

い。

[0022] また、糸貼り作業を行う部分のみカバーシートを接着層から剥がしてゆくようにすれば、未制作部分の接着層はカバーシートにより保護されたままになり、作業者の手や衣服などが接着して作業が煩わしくなるといったことがない。

[0023] 更に、制作途中には接着層の粘着面をカバーシートにより再度覆うことで、まだ糸を貼っていない露出した粘着面を保護することができる。

[0024] 次に、請求項2の糸を用いた絵画用カンバスによれば、請求項1と同じ効果が得られると共に、別体となっていた下絵紙として任意のものを選ぶことができるので、個人の嗜好に合わせた絵画、写真等を下絵紙としても用いることができるようになる。

発明を実施するための最良の形態

[0025] 図1は、この発明の絵画用カンバス1の断面図であり、板状のベース材2の上に、接着層3、下絵紙4、透視可能な接着層5、カバーシート6の順に積層された状態となっている。

[0026] ベース材2は、板状体で、その材料は特に限定されるものではなく、発泡ポリスチレン、厚紙、布、木、金属、プラスチック等やこれらの組み合わせが挙げられ、その厚みは特に限定されず、また若干の曲がりを許容して復元する程度の柔軟性があってもよい。

[0027] 接着層3は、このベース材2のほぼ全面を覆うように設けられ、接着剤を塗布して形成しても、シート状の両面接着シートを貼り付けることにより構成したものでもよい。

[0028] 下絵紙4は、接着層3によりベース材2に貼り付けられており、透視可能な接着層5側が重ねられる表面側が、下絵となる絵画、写真、イラスト、又はデザイン画などの模様からなる絵柄8がカラーで現された絵柄形成面となり、この表現方法は印刷によるのが一般的であるが、写真印画紙に現像により写真が現されたものや、その他周知技術により模様が描かれたものであってもよい。

[0029] なお、この実施形態では、下絵が描かれた下絵紙4をベース材2に接着層3を介して接着固定することでベース材2の上面側に絵柄形成面を形成したが、ベース材2の材質によっては、ベース材2の上面に直接下絵を印刷等により描いて絵柄形成面を形成するようにしてもよい。

- [0030] 接着層5は、接着層3と同様に両面に接着効果を有するものであるが、下絵紙4の表面に現された模様を反対側から視認できるように、全体が透明或いは半透明のもので透視可能なものであり、例えば、透明・半透明な接着剤を塗布して形成したり、透明な両面接着シートを貼り付けることにより構成したものが用いられる。
- [0031] カバーシート6は、可撓性を有する材質からなり、透視可能な接着層5に対して接着し、比較的小さな力でこの接着層5から剥がすことができ、また、接着層5に何度でも再接着させることが可能で、例えば各種合成樹脂製フィルム、又は紙や布の表面に合成樹脂膜を形成したものが挙げられ、素材自体が接着層5に対して着脱自在であるものを用いる他、表面に離型処理を施して接着層に対して着脱自在としてもよい。
- [0032] このカバーシート6の色は特に限定されないが、透明であれば糸を貼り付ける作業途中の仕上がり具合がカバーシート6を剥がすことなく確認することができる。
- [0033] なお、図示のように、カバーシート6をベース材2より若干大きくし、ベース材2の周囲より外側に少しだけ突出する部分を設けておけば、この部分を摘んでカバーシート6を捲りやすくなる。
- [0034] 図2乃至図4は、この発明のキャンバス1を用いた絵画の制作状況を示すもので、まず、カバーシート6を、そのベース材2から突出した部分を摘んで捲り返すようにして接着層5から剥がし、この接着層5の表面に、透視された下絵紙4に描かれた絵柄8に倣って選んだ糸7を貼り付けてゆく(図2、図4)。
- [0035] 糸7としては、着色された糸であれば特に限定されないが、絵画として使用する際のその表面光沢の美しさから絹糸を用いるのが好ましく、また、透視可能な接着層5を通じて視認される下絵紙4の絵柄8の色彩に応じた色彩の糸7を貼り付けて絵画的表現を求めるので、例えば12～24色程度を色彩の糸を用意しておくことが好ましい。
- [0036] この作業時、端から糸7を貼る作業を行う部分に合わせて順次カバーシート6を剥がしてゆくようにすれば、未制作部分の接着層5はカバーシート6により保護されたままになり、作業者の手や衣服などに接着して作業が煩わしくなるといったことがない。
- [0037] また、糸貼り作業を中断する際は、再度カバーシート6を接着層5に貼り戻すことに

より、接着層5の接着面を常に保護状態に維持することができる(図3)。

[0038] 図5は、この発明の他の実施形態の絵画用カンバス11を示す断面図であり、板状のベース材12の図示上面に、接着層13、剥離紙17の順に積層したベース部18を形成する。

[0039] このベース部18に用いられるベース材12及び接着層13は、先の実施形態のベース材2及び接着層3と同様であり、その機能、作用は説明を省略する。

[0040] また、カバーシート16の図示下面に、透視可能な接着層15と剥離紙19を順に積層したカバー部20を形成する。

[0041] このカバー部20に用いられるカバーシート16及び接着層15は、先の実施形態のカバーシート6及び接着層5と同様であり、その機能、作用は説明を省略する。

[0042] また、これらベース部18とカバー部20とは別に下絵紙14が必要に応じて用意され、この下絵紙14も、先の実施形態の下絵紙4と同様であり、その機能、作用は説明を省略する。

[0043] これらベース部18、カバー部20、及び下絵紙14を用いて絵画用カンバス11を完成する方法を説明すれば、まずベース部18の剥離紙17を剥がして接着層13を露出させ、この接着層13に下絵紙14の絵柄8が形成された面の反対側を接着する。

[0044] 次に、カバー部20の剥離紙19を剥がして接着層15を露出させ、この接着層15の接着面を下絵紙14の絵柄8が形成された面に重ねて接着する。

[0045] すると、板状のベース材12の上に、接着層13、下絵紙14、透視可能な接着層15、カバーシート16の順に積層された状態の絵画用カンバス11となり、図1で示したベース材2、接着層3、下絵紙4、透視可能な接着層5、カバーシート6の順に積層された状態の絵画用カンバス1と同様の構成となり、図2乃至図4で示したのと同様の手法により糸7を貼り付けて絵画作成をすることができる。

[0046] なお、この実施形態の場合、ベース部18、カバー部20、及び種類の異なる絵柄の下絵紙14の複数枚を組み合わせる流通及び販売し、購買者が複数枚の下絵紙14から適宜気に入った絵柄の下絵紙14を選択してベース部18及びカバー部20に貼り付けることで絵画用カンバス11を形成することができる。

[0047] また、下絵紙14としては、予めベース部18やカバー部20とセットして販売されてい

たものを用いずとも、購買者が別途用意したものを下絵紙14として用いれば、自由に絵柄を選ぶことができる。

[0048] 下絵紙14としては、例えば、写真やイラストが描かれた印刷物、写真が現像された印画紙、手書き絵画、コピー済用紙など薄いシート状のものであれば種々のものが該当するが、特に購買者が所有している個人的な写真を、最近普及したインクジェットプリンターにより低コストで印刷した用紙等を用いることで、個人の思い出のあるものや、嗜好に合った絵画を制作することができるようになる。

[0049] 図6は、この発明の他の実施形態の絵画用キャンバス21を示す断面図であり、この実施形態では、カバーシート22に他の実施形態に無い特徴を有しており、その他の部分は図1乃至図4に示す実施形態における板状のベース材2、接着層3、下絵紙4、接着層5と同様であり説明を省略する。

[0050] この実施形態のカバーシート22は、カバーシートを小分けするような各区間の周囲に切断が容易な切断補助線23が縦横直線状に基盤の目の如く入っており、またカバーシートの周囲の切断補助線23の延長線上には、この切断補助線に続いて切り込み24が入っている。

[0051] 切断補助線23としては、小さな力で簡単にシートを切断できるように、微小寸法の切れ目を間隔を空けて連続して設ける所謂ミシン目状にするか、切断補助線23の部分でカバーシート22をハーフカットしておくか、又は、ハーフカットにしてハーフカット部分に所定間隔のミシン目状のフルカット部分を形成する等すればよい。

[0052] この実施形態の場合、糸貼り作業を行う区画のみカバーシート22を順次取り去ってから糸貼り作業を行うことで、糸貼り作業済区画にはカバーシート22が存在せず、カバーシート22を捲っておく必要が無いと共に、未作業区画の接着層5上にはカバーシートが残っており、この未作業部分に手や糸が接着してしまうことが無くなる。

[0053] また、一旦作業を中止後してから作業を再開する際には、作業済み部分はカバーシート22が取り除かれており、この作業済み部分に隣接する作業区画のみカバーシート22を切断補助線23を利用して取り去ってから糸貼り作業をすれば良く、他の実施形態のように、カバーシート22全体を大きく捲って保持しながら作業をする必要がなくなる。

[0054] なお、この実施形態ではカバーシート22以外の部分は図1乃至図4に示す実施形態と同様として説明したが、図5に示す実施形態と同様の、ベース材12、接着層13、剥離紙17からなるベース部18と、このカバーシート22の下面に、透視可能な接着層15と剥離紙19を順に積層したカバー部、及び、必要に応じて用意される下絵紙14の組み合わせとしてもよい。

図面の簡単な説明

[0055] [図1]この発明の絵画用カンバスの一実施形態を示す断面図である。

[図2]この発明の絵画用カンバスを用いた絵画の制作過程を示す一部拡大断面図である。

[図3]この発明の絵画用カンバスを用いた絵画の制作過程を示す一部拡大断面図である。

[図4]この発明の絵画用カンバスを用いた絵画の制作過程を示す斜視図である。

[図5]この発明の絵画用カンバスの他の実施形態を示す断面図である。

[図6]この発明の絵画用カンバスの他の実施形態を示す斜視図である。

符号の説明

[0056] 1 絵画用カンバス

2 ベース材

3 接着層

4 下絵紙

5 接着層

6 カバーシート

7 糸

8 絵柄

11 絵画用カンバス

12 ベース材

13 接着層

14 下絵紙

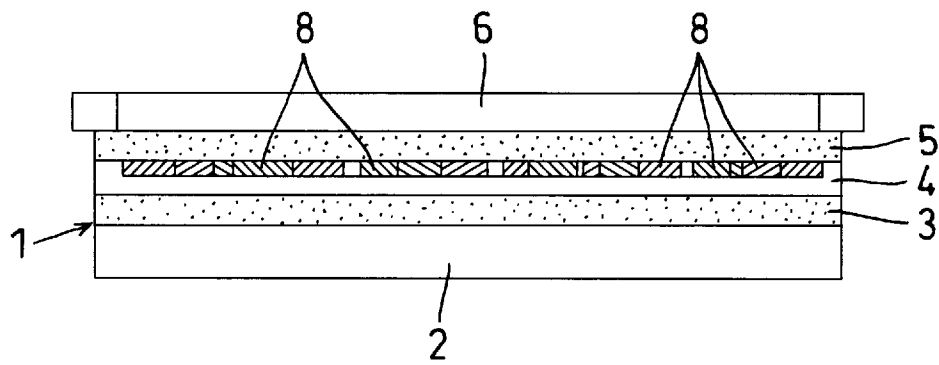
15 接着層

- 16 カバーシート
- 17 剥離紙
- 18 ベース部
- 19 剥離紙
- 20 カバー部
- 21 絵画用カンバス
- 22 カバーシート
- 23 切断補助線
- 24 切り込み

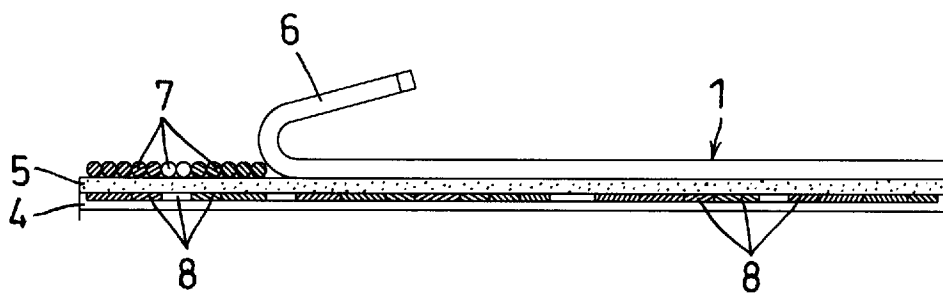
請求の範囲

- [1] 板状のベース材の一方面を絵柄が描かれた絵柄形成面とし、この絵柄形成面上に、透視可能な接着層、この透視可能な接着層に対して着脱自在となるカバーシートの順に積層して形成されたことを特徴とする糸を用いた絵画用カンバス。
- [2] 板状のベース材の一方面に、接着層、剥離紙の順に積層して形成したベース部と、カバーシートの一方面に、このカバーシートが着脱自在となる透視可能な接着層、剥離紙を積層して形成したカバー部と、必要に応じて用意された、表面に絵柄が描かれた下絵紙とからなることを特徴とする糸を用いた絵画用カンバス。

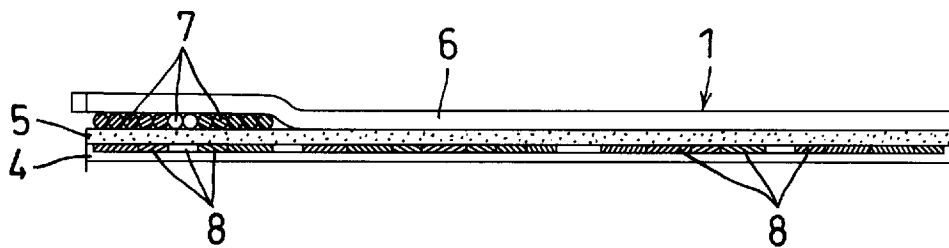
[図1]



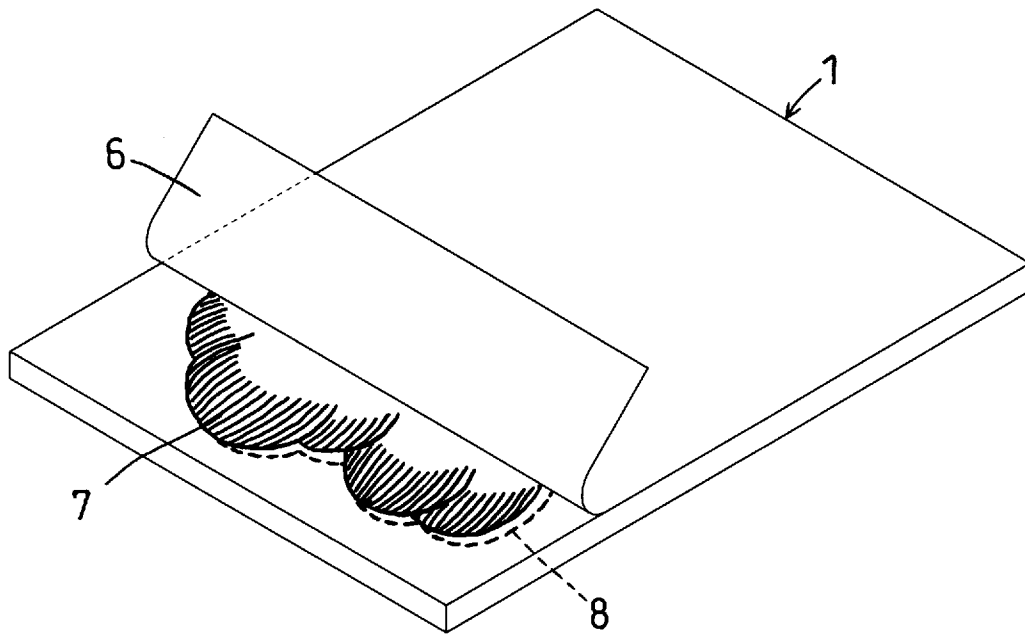
[図2]



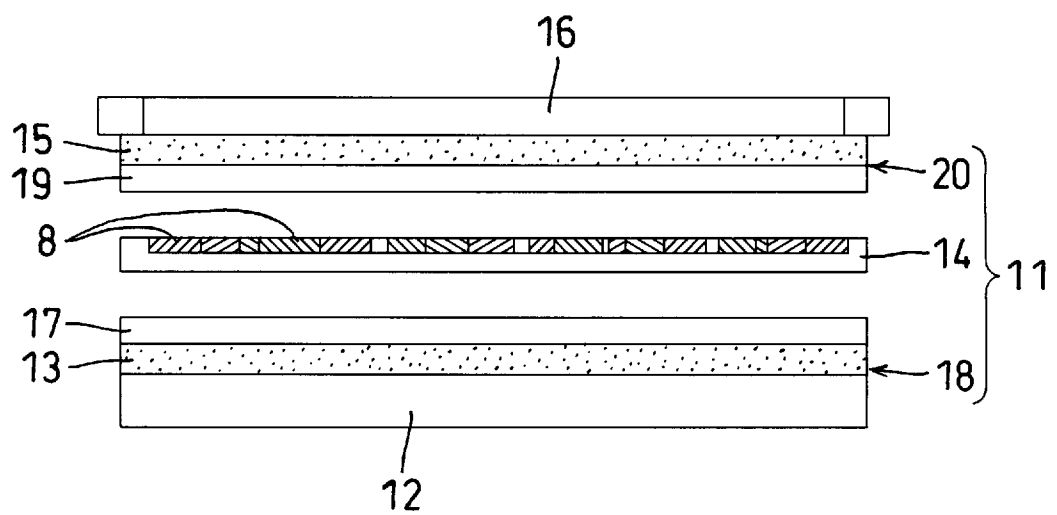
[図3]



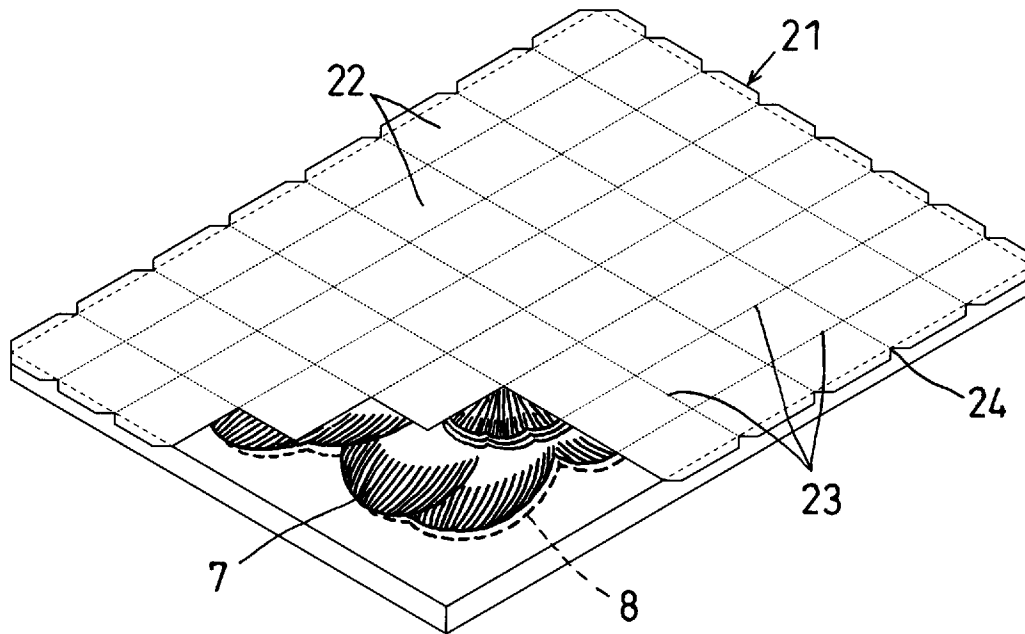
[図4]



[図5]



[図6]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2007/073334

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B44D3/18(2006.01) i, B44D2/00(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B44D3/18, B44D2/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2008
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2008	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2008

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 53-40356 A (Akira ITO), 12 April, 1978 (12.04.78), Page 2, upper left column (Family: none)	1-2
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 22800/1986 (Laid-open No. 137083/1987) (FSK Kabushiki Kaisha), 28 August, 1987 (28.08.87), Pages 6 to 7; Figs. 2, 4, 5 (Family: none)	1-2

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
21 February, 2008 (21.02.08)

Date of mailing of the international search report
04 March, 2008 (04.03.08)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B44D3/18(2006.01)i, B44D2/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. B44D3/18, B44D2/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 0 8 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 0 8 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 0 8 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 53-40356 A (伊藤 璋) 1978.04.12, 第2頁左上欄 (ファミリーなし)	1 - 2
Y	日本国実用新案登録出願 61-22800 号 (日本国実用新案登録出願公開 62-137083 号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマ イクロフィルム (エフエスケ株式会社) 1987.08.28, 第6 - 7 頁、第2, 4, 5 図 (ファミリーなし)	1 - 2

C 欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 1 . 0 2 . 2 0 0 8

国際調査報告の発送日

0 4 . 0 3 . 2 0 0 8

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

富岡 和人

3 P

8 7 1 6

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 6 4